

# 感染防止安全計画

様式 4

令和4年7月7日

## 1.開催概要

イベントの名称	夏フェス KOJIMA どんかっか～FINAL～ 思いよ届け		
開催案内の URL	<a href="http://www.kojima-jc.net/">http://www.kojima-jc.net/</a> （事務局のホームページ内）		
出演者名 チーム名等	地元児島に伝わる盆踊り「どんかっか」を柱とした一般市民参加型のお祭りです。地元の一般団体によるステージイベントや、地元の方による出店、フィナーレとして花火なども打ち上げ予定です。		
開催日時	令和4年7月30日（17時30分～21時00分）		
イベント主催者	夏フェス KOJIMA どんかっか～FINAL～実行委員会 【事務局：一般社団法人児島青年会議所 内】		
代表者	実行委員長 寺崎 悠一	担当者	事務局長 片山了介
住所	〒711-0913 岡山県倉敷市児島味野2-2-90瀬戸商工ビル5F		
連絡先	電話番号	メールアドレス	
	086-472-9510	kojimajc@mx7.kct.ne.jp	
会場名	児島ポートレース場 駐車場	所在地	倉敷市児島元浜町6-3
会場の収容率	<input type="checkbox"/> 収容定員あり 定員数 人 収容率100%	<input checked="" type="checkbox"/> 収容定員なし 人と人が触れ合わない間隔	
	いずれかを選択(いずれも大声なしでの開催が前提条件)		
参加人数	5,000人		
対象者に対する 全員検査の活用	<input type="checkbox"/>	【緊急事態措置区域】 上限 10,000 人を収容定員まで緩和	
その他特記事項	3年ぶりの開催となります。まだコロナ影響下であることから、想定される参加人数はもっと少ないとも考えられますが、一般市民が無料で参加できるイベント事業ですので、念のため、本計画に沿った対策を作成します。		

(注)同様のイベントを複数回・複数日開催予定の場合は、初回にまとめて提出可

# 感染防止安全計画

## 2.具体的な感染防止策

### ①飛沫の抑制(マスク着用や大声を出さないこと)の徹底

#### 【チェック項目】

飛沫が発生するおそれのある行為を抑制するため、適切なマスク(不織布マスクを推奨。以下同じ。)の正しい着用や大声を出さないことを周知・徹底し、そうした行為をする者がいた場合、個別に注意、退場処分等の措置を講じる

※大声の定義は、前頁の「観客等が、通常よりも大きな声量で、反復・継続的に声

- を発すること」とし、これに対する対策を施さないイベントは「大声あり」に該当する
- ※飛沫が発生するおそれのある行為には、大声での会話を誘発するような、大音量でのBGMや応援などを含む

※適切なマスクの着用の正しい着用については、厚生労働省ホームページ「国民の皆様へ(新型コロナウイルス感染症)」を参照

#### 【具体的な対策】

- 1) 事前の広報をしていく際に、入場時のルール(検温やマスクの着用、大声を出さない、他の来場者との距離確保に努めること、COCOAの推奨など)を明示します。
  - 2) 入場時のゲートにて、来場者個人に上記ルールなどを掲示し、口頭確認します。
  - 3) メイン会場内は、主催者スタッフが2人1組で道案内や警備を兼ねた見回りを実施し、マスクを着用しない者や繰り返し大声を出している者、他の来場者に迷惑をかけている者に対しては注意喚起を行い、必要によっては警備本部(警察含む)とともに退場処分等の対応を行います。
  - 4) 開催中において、総合司会より、定期的に飛沫抑制に関するアナウンスを行います。そして、開会式では、マウスガードなども活用しながら進めます。さらに、ステージイベントに関するプログラムでは、事前に出演者へ依頼して、観客からの声援を控えるための工夫をお願いします。
  - 5) 盆踊りのプログラムでは、大声をあげるものではないですが来場者も一緒に輪になってできるものであり、メイン会場内での実施なので、マスクは基本的に着用して行うこととします。
  - 6) トイレは既設、仮設含めて4カ所あり、いずれもメイン会場の外になりますが、入場時と同じルールを守っていただきます。
  - 7) イベント事業の協賛特典としてフィナーレの打ち上げ花火の特別観覧席を兎島ボートレース場の場内1F(野外)に設けています。ここもメイン会場と同じルールとし、席は飲食エリアと同じ扱いとします。
  - 8) マスクが汚れた、破れたといった事態を想定して、必要な者には販売します。
- ※マスク着用や大声に関して、熱中症、その他生命にかかると判断される場合は、そちらを優先します。

# 感染防止安全計画

## ②手洗い、手指・施設消毒の徹底

【チェック項目】	
<input checked="" type="checkbox"/>	こまめな手洗いやアルコール消毒による手指消毒の徹底を促す(会場出入口等へのアルコール等の手指消毒液の設置や場内アナウンス等の実施など)
<input checked="" type="checkbox"/>	主催者側による施設内(出入口、トイレ、共用部等)の定期的かつこまめな消毒の実施
【具体的な対策】	
1)手洗い場所について、野外会場なので、4カ所のトイレ位置に加えて、仮設の立水栓やタンクによる手洗い場所を設営して明示します。また、仮設トイレにも手洗い場を設けます。	
2)消毒液を入場ゲート、飲食エリア、本部テントに常備して明示し、なくなる際には常駐しているスタッフが交換します。また、各出店者にも依頼して、店舗ごとに消毒液を配置してもらうように依頼します。	
3)飲食エリアには主催者スタッフが常駐し、飲食者に対して、ごみ処理(仮設ゴミ箱へ)、使用した机・椅子の清掃(ウエットティッシュなどを消毒液とあわせて常備)、手指消毒などをアナウンスするとともに掲示案内を行います。	

## ③換気の徹底

【チェック項目】	
法令を遵守した空調設備の設置による常時換気又はこまめな換気(1時間に2回以上・1回に5分以上)の徹底	
<input checked="" type="checkbox"/>	※室温が下がらない範囲での常時窓開けも可 ※屋外開催は上記と同程度の換気効果と想定 ※必要に応じて、湿度 40%以上を目安に加湿も検討
【具体的な対策】	
1)会場は屋外であり、換気は基本的に検討不要と考えます。	
2)ステージイベントの出演者が必要な方には更衣室を設け、入室制限をした上で使うようにします。その際は、マスク着用の上で極力会話を控えて使用いただきます。個々人の利用時間は15分もないと考えますが、必要により着替え用の目隠しを施した上で換気を行います。	
3)盆踊りのプログラムでは、浴衣などの衣装も定番ですが、夏祭りの来場衣装として通常の範囲内であることから、更衣室は設けず、必要であれば着用してのご来場を広報で促します。	

# 感染防止安全計画

## ④来場者間の密集回避

### 【チェック項目】

- 入退場時の密集を回避するための措置(入場ゲートの増設や時間差入退場等)の実施  
休憩時間や待合場所での密集も回避するための人員配置や導線確保等の体制構築
- ※入場口・トイレ・売店等の密集が回避できない場合はキャパシティに応じ収容人数を制限する等、最低限人と人とが触れ合わない程度の間隔を確保
- 人と人とが触れ合わない間隔の確保

### 【具体的な対策】

- 1) 無料で来場参加できるイベント事業ですが、本安全計画を周知して実施していくためにも入場ゲートを設けます。入場手続き(後述の⑦参加者の把握で記載)について、20秒/人と設定すると、5,000人の想定であれば1,670分程度かかると試算されます。10ゲートで167分(2時間47分)が必要です。
- 2) 17時30分開演であり、通例であればその前30分前から開場としていますが、今回は1時間前の16時30分からとして、事前案内で密集回避を促します。
- 3) 2カ所の入場門に最大10ゲートとして、人員配置して対応を行い、誘導・整列用のスタッフも配置して対応します。また、トイレが会場外のため、中途入場が簡単にできる専用ゲートも設けて、不要な整列密集の回避に努めます。
- 4) メイン会場を通常の2.5倍以上に拡大し、あわせて飲食スペースを拡大することで来場者間の密集回避に努めます。そして、出店配置について、2店舗の隣合わせとして空間を広くとり、購入のための列が密集しないようにするとともに、会場全体で不均等な滞留ができるだけ起きないような配置を行います。
- 5) 出店者に対して事前に会議を行い、食べ物と飲み物の扱いを分けるなど可能な限り短い時間での提供が出来るように工夫検討の上で臨んでいただきます。
- 6) トイレについて、既設トイレの内1つを女性・子供専用トイレにして、トイレ渋滞の回避に努めます。そして、前回準備しなかった仮設トイレを設置して更なる密集回避に努めます。
- 7) イベント事業の協賛特典である打ち上げ花火の特別観覧席について、チケットによる入場制限を行い、チケット番号によるエリアを分けた形で座席を用意します。既設の座席は少なくとも1席空きの形で利用するように準備します。
- 8) 退場について、打ち上げ花火でプログラムは終了しますが、出店時間を21時までとして、退場の混雑密集の回避を和らげます。また、入場管理の為に設置していたバリケードを解放し、入場門以外での移動をできるようにして混雑密集の回避に努めます。

# 感染防止安全計画

## ⑤ 飲食の制限

【チェック項目】	
<input checked="" type="checkbox"/>	飲食可能エリアにおける感染防止策（飲食店に求められる感染防止策等を踏まえた十分な対策）の徹底
	長時間マスクを外す飲食は、隣席への飛沫感染のリスクを高めるため、飲食は、飲食専用エリアのみとし、観客席など飲食専用エリア外では自粛
<input checked="" type="checkbox"/>	ただし、発声がないことを前提に、飲食時以外のマスク着用担保や、マスクを外す時間を短くするため食事時間を短縮する等の対策ができる環境においては、この限りではない
<input checked="" type="checkbox"/>	飲食中は、マスク無しでの会話禁止を徹底
<input checked="" type="checkbox"/>	自治体の要請に従った飲食・酒類の提供（提供する場合には、飲酒による大声等を防ぐ対策を検討）
<input checked="" type="checkbox"/>	食べ歩きを禁止を徹底
【具体的な対策】	
	1)メイン会場を通常の2.5倍以上に拡大し、あわせて飲食スペースを拡大することで、距離を保ちやすい机や席の配置を行います。そして、飲食スペースを明示して、それ以外での飲食（マスクを着用しないまま会話、移動する行為）を禁止します。
	2)上記ルールは、飲食スペースに掲示します。
	3)飲食スペースに常駐している主催者スタッフは、上記ルールの注意を促すとともに、長時間机を1グループが占有しないようにアナウンスします。
	4)見回りしている主催者スタッフは、2人一組で行動し、飲食スペース以外での飲食を行っている来場者に対して注意を行います。
	5)アルコールの販売について、未成年者への販売禁止、飲酒運転の禁止を強く求めます。これは、出店者には事前に周知徹底するとともに、事前広報を行います。
	6)注意してもルールを守っていただけない来場者には警備本部（警察含む）と協力して退場処分等の対応を行います。（前述している①飛沫の抑制の徹底の通り。）

# 感染防止安全計画

## ⑥出演者等の感染対策

【チェック項目】	
<input checked="" type="checkbox"/>	有症状者(発熱又は風邪等の症状がある者)は出演・練習を控えるなど、日常からの出演者(演者・選手等)の健康管理を徹底する ※体調が悪いときは医療機関等に適切に相談
<input checked="" type="checkbox"/>	練習時等、イベント開催前も含め、声を発出する演者間での感染リスクに対処する
<input checked="" type="checkbox"/>	出演者(演者・選手等)やスタッフ等と観客がイベント前後・休憩時間等に接触しないよう確実な措置を講じる(誘導スタッフ等必要な場合を除く)
【具体的な対策】	
<p>1)主催者は、出演予定団体に対して事前の会議を実施し、次に書かれる体調管理、ステージ内でのルール、控室利用のルールなど、注意事項を確実に守っていただくようにします。</p> <p>2)出演者及び出演者側の管理補助者(更衣室などのエリアに入る方)の名簿リストを作成します。リストに掲載されている者全員に対して、当日の朝の検温と体調を記録していただきます。その時に、熱(家で37.5度以上)、咳などの症状が出ている出演者(個人)は、残念ですが参加自粛をお願いします。</p> <p>3)出演予定団体は、会場の入場チェックを済んだ後でも、出演までの間に発熱や席などの症状が見受けられる場合は、該当する出演者(個人)は参加自粛をお願いします。</p> <p>4)演目披露のみマスクを外してもよいこととし、それ以外の時間(総合司会との会話など)はマスク着用とします。</p> <p>5)マイクの使用に関して、使用後は消毒して再使用するよう主催者スタッフを配置します。</p> <p>6)ステージから観客までの距離は2m程度確保して仕切り、観客用の椅子を1m間隔で配置して、出演者との距離、観客同士の距離を確保します。</p> <p>7)観客からの声援は自粛を促し、手拍子や拍手での応援を総合司会よりアナウンスします。出演予定団体も声援を煽るような演出は控え、必要なら別の盛り上がる工夫を事前に検討することを伝え、守れなかった場合は演目中でも中断・中止を致します。</p> <p>※上記2)及び3)については、主催者スタッフや出店者、ボランティアにも同様の管理を致します。</p>	

# 感染防止安全計画

## ⑦参加者の把握等

【チェック項目】	
<input checked="" type="checkbox"/>	時差入退場の実施や直行・直帰の呼びかけ等イベント前後の感染防止の注意喚起
	入場時の連絡先確認やアプリ等を活用した参加者の把握
<input checked="" type="checkbox"/>	※接触確認アプリ「COCOA」を活用 ※原則、参加者全員に対してアプリダウンロードまたは、氏名・連絡先等の把握を徹底
<input checked="" type="checkbox"/>	入場時の検温、有症状(発熱又は風邪等の症状)等を理由に入場できなかった際の払い戻し措置等により、有症状者の入場を確実に防止 ※チケット販売時に、有症状の場合は早めに連絡・キャンセルすることを周知すること
【具体的な対策】	
	1) 事前の広報において、接触確認アプリ「COCOA」のダウンロードを周知し、入場門にも QR コードを掲示して導入活用いただきます。 2) 入場の検温時において、また会場内で発熱や体調不良と判断した場合は一時休憩いただき、その上で回復しなければ、参加自粛及び退場などの対応をしていただきます。 3) 検温、マスク着用などの確認ができたものには、オリジナルのシールを貼っていただきます。 4) 事前の広報において、直行・直帰での参加を促し、当日に退場される方に対しては直行帰宅の呼びかけを行います。
	※参加者の把握は、陽性診断がなされた者の行動把握と二次拡大の予防が目的と理解しており、国や保健所が指導する COCOA の正しい利用を前提として、氏名・連絡先の確認は省略します。

# 感染防止安全計画

## ⑧その他

### 【チェック項目】

- 自治体からの要請や各業界が定める業種別ガイドライン(該当する業種において策定されている場合)を遵守する

### 【遵守するガイドライン等の名称】【その他】

本計画策定に際し、以下のガイドラインを調査したことを報告します。

- 1)岡山市地域活動(イベント)等の開催における新型コロナウイルス感染症対策ガイドライン(第8版)令和4年5月2日改訂 岡山市
- 2)祭り・イベント等開催に向けた感染拡大防止ガイドライン(第4版) 令和3年12月26日改訂 公益社団法人日本青年会議所
- 3)遊園地・テーマパークにおける新型コロナウイルス感染拡大予防ガイドライン(第4版)令和4年3月22日改訂 業種別ガイドラインより

#### その他

- 1)イベント事業参加の交通手段について、実績上、自家用車での来場が大多数であり、交通整理に関する計画は専門の警備会社に依頼し、別途安全警備計画を作成します。
- 2)事前中止判断基準について、以下の場合は残念ですが中止することとして事務局ホームページ上、公式SNS上で公表します。
  - (1)当日及びその前2週間までの期間(7月16日~30日)が、緊急事態宣言対象または蔓延防止等重点措置の対象地域となった場合
  - (2)その他に、国または自治体より特別の中止命令があった場合尚、荒天による中止判断は別で致します。
- 3)事前中止となった場合に一定期間を空けた形での延期開催は、対策の一つと考えられますが、本イベント事業の柱である「どんかつか」は先祖供養であるお盆の風習の中で地元児島に伝わる踊りであり、各地域やご家庭で迎える本来の8月中旬を過ぎる開催は考えておりません。
- 4)感染防止の観点から、ステージイベント、出店、打ち上げ花火などの部分的な自粛変更しての開催も、対策の一つと考えられますが、夏祭りとしてのプログラムとしてはいづれも欠くことのできないものと考えておりますので、縮小策は致しません。

# 感染防止安全計画

## 【添付資料】

- ・イベントのチラシ、計画書や要綱など
- ・参考とした業種別ガイドライン
- ・その他、感染防止策がわかる資料など

## 【イベント開催後】

- ・終了後、1ヶ月以内を目途に、「結果報告書」(様式6)を県に提出すること

## 【問題発生時(クラスター発生、感染防止策の不徹底等)】

- ・直ちに「結果報告書」(様式6)を県に提出すること